

平成28年度 学校関係者評価報告書

大阪歯科衛生士専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人加藤学園 大阪歯科衛生士専門学校 学校関係者評価委員会は、「平成28年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて、学校関係者評価を実施したので、下記のとおり報告します。

1. 学校関係者評価評価委員

区分		
業界関係者	加藤 信次	(歯科医師)
業界関係者	寺澤 一男	(歯科医師)
卒業生	東條 広美	
校長	河野 忠雄	
教務主任	上野 光子	
事務長	西田 一也	

2. 平成28年度自己点検・自己評価における学校関係者評価

評価項目	評価	評価に対する今後の学校の取り組み
1. 教育理念・目的 育成人材像	<ul style="list-style-type: none"> 建学の精神のもと、教育理念・目標を定め、社会のニーズに対応した医療人の育成に努力している。 学生の多様化に対応できる教育体制、学習意欲の維持向上の取り組みがなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会のニーズを踏まえた、新たな知識・技術を提供する機会を拡充するとともに、学生個々の能力に応じた個別指導や、効率的な補修などを実施していく。
2. 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 運営方針及び事業計画が策定されており、また運営組織やその意思決定の過程も明らかになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 法令倫理に則った、適切なコンプライアンス体制を構築し、それらを共通意識として共有することで、法令順守を徹底していく。
3. 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> 国家試験の合格率や、これまでの長年の実績から、教育水準は高いと考える。 実践的な技術の獲得、医療人としての人間形成、モラルや学習意欲の問題、学生の習熟度など、取り組むべき課題に取り組んでいる。 臨床実習を含めた臨床教育の充実、授業の理解が遅れがちな学生への対応など、これまで以上に組織的な教育体制の整備が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家試験合格率100%を毎年達成できるように対策授業を工夫したい。 法令で定められた教育内容に重点を置きながらも、医療界・社会が求める実践力を持った、歯科衛生士を育成するための方策を議論し、企業や介護医療現場の講師による特別授業の実施など、業界と連携したよる実践的な技術を身に付ける教育に取り組んでいる。
4. 教育成果	<ul style="list-style-type: none"> 昨年に引き続き国家試験の不合格者が出た。理由を分析し指導方法を見直したい。 退学の要因となる学習意欲の低下や、成績不良への対策として、定期的な面談が、効果を上げている。 卒業生の医療現場での活躍が、評価を得て、後輩への求人数増加につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、毎年の国家試験全員合格を目指す。 成績不良者に対する面談や、補習授業・保護者との連携を通じて、学生の学習意欲の向上を図り、学力の向上と退学率の低減に努める。 卒業後の動向、業界関係者への情報収集を行い、それらの情報を在学生・保護者・受験生に提供していく。
5. 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> 就職支援、学生相談、奨学金制度等、様々な方法で、学生支援を行っている。 学生の精神的なケアも含めて、健康面でのサポートも充実させて欲しい。 卒業生へのサポート体制をより充実して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種面談を通して、学生支援は十分に行っているが、家庭の事情が複雑な学生も増えている。学生の状況に応じて、適切に対応していきたい。 卒業生への再就職サポートは従来より行っているが、利用者が少ない。ますます増えている業界のニーズに応えるためにも十分な告知を行いたい。

6. 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・法令に定められている教育環境にあり、防災への取組も評価できる。 ・臨床実習施設との連携も行われているが、種類を増やすためにも、新規開拓が必要だと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備・施設に関して、定期的な見直しと、計画的に更新し充実させたい。 ・社会のニーズに合わせた、臨床実習ができるように、実習施設の充実を図りたい。
7. 学生の募集と受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府専修学校各種学校連合会の規定や、法令に則り、適切に学生募集が行われている。 ・オープンキャンパスの参加者から出願に繋がる率が年々低下しているように思える。本校の魅力をもっと伝えることが必要である。 ・高校生の視点に立った、学生募集活動を工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育成果を含めた、具体的な情報を提示することで、本校の魅力を伝える。 ・高校生・高校の教員側が、求めている情報を開示し、他校との差別化を図っていく。 ・オープンキャンパス参加者から評価の高い、卒業生・在校生とのフリートークをもう少し活発にできるように工夫する。
8. 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・借入金もなく、健全な学校経営により、安定した財務基盤を築いている。 ・厳しい学生募集状況が続くことにより、財務基盤が弱体化する恐れもあるため、安定した学生の確保と、退学防止、経費等の削減になお一層努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務所による、健全な財務指導と、学校経営を維持するとともに、学生募集の強化、在校生の退学率の低減、経費削減に努める。 ・設備の定期的な更新のためにも、計画を立て十分な準備をしておく必要がある。
9. 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令を遵守し、自己点検・自己評価を行うと共に、それらの情報を公開する必要がある。 ・コンプライアンス推進体制の強化が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守にあたっては、各種規定を整備し、全教職員間において周知徹底を図ることにより、コンプライアンスを推進する体制を早期に実現する。

3. 総評

上記9項目に対し、委員による評価は良好であったことから、大阪歯科衛生士専門学校の教育活動、学校運営は、概ね高い水準で維持されているものと評価する。
 一方で、実践的な臨床教育の整備並びに学生の学力向上の取組に対し、常に時代のニーズに即した対応を行い、教育の質の向上に、なお一層の努力を望みます。

以上